

产学合作交流协议书

産学提携に関する協定書

中国 西安理工大学

日本 株式会社ロイヤル

产学合作交流协议书

産学提携に関する協定書

中国 西安理工大学（以下称甲方）与日本 株式会社ロイヤル（以下称乙方）为保障以人才培养、国际交流为目的的产学合作活动顺利进行缔结以下协议。

中国 西安理工大学（以下「甲」という）と日本 株式会社ロイヤル（以下「乙」という）は人材育成、国際交流を目的とした産学提携活動を円滑に進めるため、以下の協定を締結する。

（目的） / （目的）

第1条 作为甲方学生（以下称【学生】）学业的一个环节，通过在日本的社会实践活动，提高学生日语水平，提高日语专业教学的效果。

第1条 甲の学生（以下「学生」という）が学業の一環として日本における職場体験を通して日本語能力を高め、日本語専門教育効果が向上することを目的とする。

第2条 学生通过体验日本企业的职场工作，理解日本的公司组织、企业理念、企业经营和工作等情况，通过学习日本的社会文化，达到有助于学生积累经验，有效选择未来职业的目的。

第2条 日本における職場体験を行い、学生に日本の会社組織、企業理念、企業経営と職務の一端を理解させ、同時に日本の社会文化を勉強して、学生が将来的な職業選択に向けての経験を積むことを目的とする。

（甲方的指导） / （甲の指導）

第3条 甲方需对学生讲解本协议的事项，同时负责学生日语学习以及职场体验（以下称【社会实践】）顺利进行的必要的指导工作。

第3条 甲は学生に対して本協定に定められる事項を周知させ、学生に日本語教育を実施し、円滑な職業体験が行えるために必要な指導を行う。

第4条 甲方及时提供学生申请日本在留资格所需材料并保证材料的真实。

第4条 甲は乙に学生の日本在留資格取得申請に必要な資料を提供し、当該資料に虚偽が無いことを保証する。

(乙方的义务) / (乙の役割)

第5条 乙方在社会实践期间,为甲方的学生配备指导负责人,对学生进行必要的指导和帮助。该期间,根据日本的国内法律,监督学生的社会实践、生活环境、生活态度。

第5条 乙は学生の職場体験期間中、学生に対して職務指導責任者を配置し、必要な指導と助言を行う。当該期間中、乙は日本国における関連法律に基づいて学生の職場体験、生活環境、生活態度を監督する。

第6条 乙方负责提供学生申请日本在留资格所需材料并保证材料的真实。并替学生办理日本在留资格的申请手续。

第6条 乙は甲に学生の日本在留資格取得申請に必要な資料を提供し、当該資料に虚偽が無いことを保証する。なお学生の日本在留資格取得申請手続きは学生に代わり乙が行うものとする。

(报酬) / (報酬)

第7条 社会实践期间,乙方按照社会实践的内容支付相应金额的报酬,该金额为事前在本协议中以书面形式记载规定的金额。

第7条 職場体験期間中、乙は学生に職場体験の職務内容に応じた金額を報酬として支払うものとし、事前に当該金額を書面にて明示することとする。

(其他) / (その他)

第8条 1、在社会实践期间,学生发生人身和财产损害时,甲乙双方相互协商妥善解决。但是,由于学生违反本协议的行为给乙方或者第三方造成损害,依据法律处理,该损害的最终责任由学生本人负责。

2、学生自费加入日本国内的死亡、伤害、伤病、损害赔偿保险。上述保险必要手续由乙方负责协助学生办理,保证学生获得保险保障。

3、学生负担中国国内旅费以及中国至日本往返国际旅费

4、在学生的社会实践期间,乙方需遵守日本劳动法规。

第8条 1. . 職場体験期間中、学生に人身及び財産の損害が発生した場合は、甲乙相互協力して対処する。但し学生の本協定に反する行為により乙または第三者へ損害を生じさせた場合は、法令に従って処理するものとし、当該損害に係る責任は学生本人が負うものとする。

2. 学生は自費で日本国内の死亡と傷害に対する損害賠償保険に加入

する。なお当該保険加入等に関する必要な手続きは乙の協力を得て学生が行うものとする。

3. 学生は中国国内の移動旅費を含んだ日本の国際空港までの往復国際旅費を負担する。

4. 乙は学生の職場体験に際し、日本の労働法規を遵守する。

（社会实践时间） / （職場体験期間）

第9条 学生在乙方职场的社会实践期限在甲方同意的范围之内，由甲乙双方协商决定。

第9条 学生の職場体験期間は甲が認める期間の範囲内とし、甲乙が協議して当該期間を決定する。

（社会实践内容） / （職場体験内容）

第10条 甲乙双方协商决定学生的社会实践计划内容以及社会实践岗位分配方案。

第10条 学生の職場体験の内容及び職場体験の配属先は甲乙が協議して決定する。

（社会实践期间的情况掌握） / （職場体験期間中の状況把握）

第11条 为社会实践顺利进行，甲乙双方根据学生的社会实践情况，可随时协商予以调整。社会实践结束时，学生向乙方出示社会实践报告得到确认后，提供给甲方。

第11条 乙は職場体験が円滑に行われるように、学生の職場体験状況を把握し、問題がある場合は随時甲乙協議して調整する。また、学生は職場体験終了時にレポートを作成し、乙の確認後、甲に提出する。

（严守纪律） / （規律遵守）

第12条 社会实践期间，学生应严格遵守乙方的职务规定，在工作场所以及生活中应严格遵守日本的社会纪律。

第12条 学生は職場体験期間中、乙の職務規定を守り、職場及び生活面において日本国における社会規律を遵守する。

（保密义务） / （守秘義務）

第13条 学生在社会实践期间了解到的有关乙方业务方面的信息，在社会实践期间以及社会实践结束后不得向第三方泄露。

第13条 学生は職場体験期間中に知り得た乙の業務に関する情報を職場体験期間中及び終了後も第三者に漏洩しない。

(合作体制) / (協力体制)

第14条 甲乙双方为完成本协议的目的, 就有关业务合作事项设立专门窗口, 及时协调并交换信息。

第14条 甲乙は本目的達成の為、業務連携と協力事項に関する専用窓口を設置し、適時に情報交換や調整を行う。

(其他协议事项) / (その他協議事項)

第15条 有关本协议未规定的事项, 由甲乙双方协商后决定。

第15条 本協定に定めない事項に関しては必要に応じ、甲乙協議の上これを定めるものとする。

(协议期限) / (協定期間)

第16条 本协议自甲乙双方代表签字之日生效, 至学生社会实践期满后终止。

第16条 本協定は甲乙代表者署名した日を発効日として、学生の職場体験終了日までとする。


以上内容确认无误, 本协议中日本各一式两份, 甲乙双方签字盖章后保存中日文本各一份为凭。

以上、本協定は中国語文と日本語文各 2 通を作成し、甲乙それぞれ記名捺印のうえ各 1 通を保管するものとする。

2018 年 9 月 10 日

甲方: 西安理工大学

代表:



乙方: 株式会社ロイヤル

代表: 代表取締役 谷津 剛 志

公印

